

西尾市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

総合戦略に基づく
施策の取組状況
(平成 28 年度)

I 西尾市の人口動態

1. 推計人口

平成 27 年 10 月 1 日現在の西尾市の人口は 167,990 人で、1 年前と比べて 446 人増加した。

	H 2 2 年	H 2 6 年	H 2 7 年	前年比	備考
総人口	165,298	167,544	167,990	446	10月1日現在
0～14 歳	24,617	国勢調査	24,236		
15～64 歳	105,941	確定値を	103,106		
65 歳以上	34,561	基準に集	40,211		
不詳	179	計中	437		

出典：H22 年と H27 年は国勢調査(確定値)。H26 年は H27 国勢調査速報値を基準値とする推計人口
(愛知県人口動向調査)

【参考】西尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおける平成 27 年の将来推計人口は、166,306 人

2. 自然動態

平成 27 年の自然動態は、出生児数が 1,431 人、死亡者数が 1,597 人となり、自然増減は 166 人の減少となった。

出生数は、前年より 53 人減少し、死亡数は 40 人増加した。

		H 2 6 年	H 2 7 年	前年比	備考
自然動態	出生	1,484	1,431	▲53	1月1日～12月31日
	死亡	1,557	1,597	40	
	自然増減…①	▲73	▲166	▲93	

出典：自然動態は愛知県人口動向調査(愛知県統計課)。

3. 社会動態

平成 27 年の社会動態は、転入者数が 6,292 人、転出者数が 5,660 人となり、社会増減は 729 人の増加となった。

平成 27 年の転入者数は、前年より 490 人増加した。

平成 27 年の転出者数は、前年より 335 人増加した。

		H 2 6 年	H 2 7 年	前年比	備考
社会動態	転入	5,802	6,292	490	1月1日～12月31日
	転出	5,325	5,660	335	
	その他増減	▲15	97	112	
	社会増減…②	462	729	267	

出典：愛知県人口動向調査(愛知県統計課)

自然増減①と社会増減②でみる平成 27 年の増加人口は 563 人となった。

	H 2 6 年	H 2 7 年	前年比	備考
増加人口…①+②	389	563	174	自然増減+社会増減

※ 1. 推計人口における増減とは集計期間が異なるため一致しない

Ⅱ 施策の取り組み状況

【基本目標 1】西尾市の特色を活かして、「雇用」を維持・拡大する

本市の産業競争力を強化することにより安定した雇用の場を確保・拡大するとともに、魅力ある職場づくり、女性の就業率の向上など、雇用環境の質の向上を図り、地域の経済力・消費力向上、雇用の充実につなげます。

<主な事業の平成 27 年度取組状況と今後の展望>

【**担い手経営安定推進事業**】担い手の高齢化と後継者不足の問題の解決のため、新規就農者の支援や農地集積の協力への給付、農業用機械の取得に対する助成などを行った。今後も支援を継続する。

【**水産業振興補助事業**】アサリ、うなぎの資源減少対策のため、アサリ稚貝放流やアサリ漁場の覆砂投入、親うなぎの放流などを行った。今後も漁業環境改善を進めるとともに漁業経営の安定化を図るための支援を継続する。

【**ふるさと応援寄附金制度**】ふるさと応援寄附金制度の運用を開始し、特産品のPRを図った。今後も返礼品を提供していただける協力事業者を募集し、返礼品の充実を図り、更なる特産品のPRを推進する。

【**企業立地支援のための補助金等交付事業**】市外企業の誘致及び市内企業の流出防止のため、工場を立地する企業に対して、県と連携した補助金や市独自の奨励金（固定資産税相当額）の交付を行った。今後も引き続き継続し、企業用地や優遇制度を広く発信する。

【**消費喚起プレミアム商品券発行事業、セミナーの開催支援など新規に商店街への出店を推進、各種団体補助事業（まちなか賑わい創出事業）、商店街空き店舗活用事業**】商業の振興については、地域の消費拡大を行うためプレミアム商品券発行事業に対し補助を行った。また、西尾商工会議所、西尾信用金庫等と共催し創業支援セミナーを開催した。今後は「城下町マーケット」、「まちゼミ」など引き続き賑わいづくりに努める。また、空き店舗対策として、空き店舗や空き地の有効活用などを検討していく。

【**高齢者能力活用推進事業**】シルバー人材センターにおいて就労を希望する高齢者に対し、就業機会の開拓及び提供の支援を行った。今後とも支援を継続する。

<その他の事業>

新商品開発支援事業、農業副都心整備事業、農業近代化資金利子補給事業、経営基盤強化資金利子補給事業、花き産地振興事業、定年帰農者支援対策事業、各種団体

等補助事業、漁業近代化資金等利子補給事業、技術交流改善補助事業、梶島清掃管理事業、海外販路開拓事業、特産品振興事業、小規模事業者事業承継支援事業、企業の後継人材育成事業、企業立地プロモーション事業、工業系用地適地選定調査事業、企業訪問による情報収集及び発信業務、企業戦略総合支援事業、県内外で開催される展示会への市内企業との共同出展事業、産官金連携による産業支援拠点の創設、ものづくり産官学金連携プロジェクト in 西尾、創業支援事業、産官金連携によるものづくり企業経営力強化サポート事業、おとなの職業体験、男女共同参画講座に関する学習機会の提供

政策目標指標

指標	基準値 (H27 年度)	実績値 (H28. 3. 31 時点)	目標値 (H31 年度)
従業者数（経済センサス）	77,675 人 (H24 年)	-	77,675 人 (H32 年)

K P I（重要業績評価指標）

指標	基準値 (H27 年度)	実績値 (H28. 3. 31 時点)	目標値 (H31 年度)
特産品による新商品開発数（累計）	1 件	1 件	3 件
東京での物産展における西尾市の認知度	30%	31%	35%
地域ブランド認定数（累計）	2 件	2 件	3 件
事業承継支援実績（累計）	1 件	1 件	13 件
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	26 人 (H26 年度)	30 人	89 人 (H30 年度)

【基本目標 2】 地域の魅力を磨き、「交流・にぎわい」を深化する

本市の自然・歴史・文化をはじめとする豊かな地域資源の魅力を多様な方法で情報発信し、市外から訪れたいと思ってもらえるまちを実現することにより、観光振興をはじめとする本市への人の流れをつくります。

<主な事業の平成 27 年度取組状況と今後の展望>

【一色マラソン大会事業】一色マラソンを開催し、全体で 4,136 人のエントリーがあり、西尾市以外からの参加は 2,800 人（68%）であった。今後は、コース幅の状態や駐車場などの問題解決に努め、ひとりでも多くの方に参加いただける募集人数の制限をしない大会を検討する。

【佐久島活性化事業】アートを基軸としたまちおこしの展開により、佐久島来訪者数は、平成 26 年度 79,255 人に対し平成 27 年度は 103,145 人と目標値を大幅に超過した実績となり、交流人口の増加に繋がった。引き続き、島を美しくつくる会との協働等により、佐久島の資源の更なる活用により、島の活性化や交流人口の増加を図る。

【西尾駅西広場整備事業】平成 27 年 10 月、経済界、議会を始めとする各界各層の声を受け、「西尾駅西広場整備事業募集要項」を公表したが、応募者は無かった。市が示した支援策が、十分な負担軽減策ではなかったとの認識である。今後予定している再公募の中で、引き続きコンベンションホールを最も重要な誘致奨励施設と位置づけ、市の支援策を可能な限り拡充した支援策の創設に向けた諸準備を行う。

【Wi-Fi 環境整備事業、観光宣伝事業、「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業】市内外において、地域ブランド「西尾の抹茶」「一色産うなぎ」等を PR し宣伝に努めた。また、文化芸術振興費補助金を活用し、「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティアの養成に努めた。今後は Wi-Fi による高速かつ柔軟なインターネットアクセス環境を整備するとともに、「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティアを引き続き養成し、体験・交流プログラムを組み入れた観光ツアーを催行する予定。

【ローカルクールジャパン推進事業、観光情報誌・ホームページ多言語表示による観光 PR 事業、訪日外国人観光 PR 対策事業、「醸造・器・和の心」が奏でる新たな観光ルート”竜の子街道”造成事業】訪日外国人に対し、中部国際空港内に観光情報誌多言語版を設置し、西尾市の魅力を発信した。今後は訪日外国人観光客を誘客するための環境整備に努め、「竜の子街道」など広域連携による更なる観光客の誘致を図る。

【観光協会への指導者雇用事業】西尾市観光協会の法人化に向けて、旅行関係団体から出向いただき、平成 28 年 4 月 1 日に一般社団法人として設立した。今後は第 2

種旅行業を取得し広域観光を目標に、西尾市のPR活動の強化とともに西尾市観光協会の自主運営に協力していく。

<その他の事業>

塩づくり体験事業、観光施設等へのアクセス向上、GOGO三河湾協議会事業、佐久島ラインガルテン指定管理吉良サミット推進事業、観光協会の法人化推進事業、Matchade食べくらべ食べあるき、ARアプリによる西尾城復元事業、体験・交流プログラムを組み入れた観光ルートの開発、観光行事開催事業、西尾市観光協会補助事業、まちおこしスペシャリストの招聘、観光資源の洗い出しとPRの強化

政策目標指標

指標	基準値 (H27年度)	実績値 (H28.3.31時点)	目標値 (H31年度)
交流人口(観光入込客数)(愛知県観光レクリエーション利用者統計)	350万人 (H24年)	350万人 (H27年)	430万人 (H31年)

KPI(重要業績評価指標)

指標	基準値 (H27年度)	実績値 (H28.3.31時点)	目標値 (H31年度)
佐久島来訪者数(島民利用を除く市営渡船利用者数)	79,200人 (H26年度)	103,145人	85,000人
西尾駅乗降客数	9,828人/日 (H26年度)	10,020人/日	10,300人/日
観光用Wi-Fi利用者(アクセス)数	0	0	300,000件
ARアプリのダウンロード数	0	0	20,000件
外国人宿泊者(吉良温泉)	9,027人 (H26年度)	17,359人	20,000人
海外からの観光協会ホームページアクセス数(言語ベース)	18,400件 (H26年度)	38,814件	50,000件
QRトランスレーターのアクセス件数	0	1,134件	30,000件
観光協会ホームページアクセス数	629,054件 (H26年度)	747,011件	800,000件

【基本目標3】 次代を担う世代を積極的に支援し、地域で「子ども」を育成する

急速な少子化と子育てに対するニーズの多様化の中で、若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しみ、安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、男女を問わず子育てに参画し、男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境の実現を目指し、地域・事業者・行政が一体となって子どもの育成に取り組みます。

<主な事業の平成27年度取組状況と今後の展望>

【出産支援金交付事業】 出産支援金交付事業により、加入している医療保険にかかわらず、出産支援金を交付した。平成27年度の支給実績は1,302件で51,073千円、1件当たり39,227円を交付した。出産育児一時金の上乗せとして支給をしているが、市民に分かりにくい制度なので、仮称「出産祝金」という名目で、給付制限なしに支給した方が、インパクトもありPRできると考える。今後は、制度の見直しの検討などについて協議する必要性がある。

【西尾市風しん抗体検査及び予防接種助成事業、母子健康診査事業（妊産婦・乳児健康診査）、こんにちは赤ちゃん訪問事業・妊産婦家庭訪問事業・乳幼児家庭訪問事業、妊婦相談（母子健康手帳交付）、歯科健診事業・フッ化物洗口事業、マタニティクラス、パパママ教室、健康・育児相談】 妊娠・出産時の情報を活かしながら、各種乳幼児健診や、予防接種、育児相談等を実施し、母子に対する継続した支援を行った。今後も現体制を維持する。

【子ども医療費支給事業】 子ども医療費支給事業として通院・入院とも15歳の年度末までの子どもの保護者に保険診療による医療費を支給した。今後も制度を継続する。

【放課後児童クラブ運営・充実、児童館運営事業、児童遊園・ちびっこ広場整備事業】 市内26箇所で児童クラブを運営した。米津・平坂児童クラブではクラブ室を改築し、受入れ児童の増加を図った。児童館については子どもを対象とした各種イベントを実施した。児童遊園大和田ちびっこを新設した。今後も引き続き子ども・子育て支援の充実を図る。

【病児・病後児保育事業、保育の質の向上事業、低年齢児保育事業、延長保育事業、預かり保育事業、休日保育事業、一時保育事業、障がい児保育事業、児童発達支援センター事業、こども発達支援事業、保育園・幼稚園園庭芝生化事業、保育園・幼稚園施設建て替え・長寿命化対策事業】 西尾市子ども・子育て支援計画の施策「地域における乳幼児の子育て支援の推進」に基づき預かり保育事業や一時保育事業を行うなど、保育園・幼稚園等における教育・保育の充実を図った。今後も引き続き、子ども・子育て支援計画により教育・保育の充実を図る。

【少人数学級推進事業】 小学1・2年生を対象としている県の少人数学級(35人学級)

を本市独自で小学3年生まで拡大し、該当する市内5校に常勤講師を配置することで、より細やかな学級指導を行った。今後も現行制度を継続する。

【AETの配置事業】8名のAETを配置し、市内の小中学校、幼稚園を訪問し、コミュニケーション能力を養うとともに、英語表現に慣れ親しむ外国語活動を実施した。今後、小学校3・4年生における外国語活動の導入に向けて、AETの増員を検討する。

【地域子育て支援拠点（子育て支援センター）を核とした利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業、育児サークルの育成・支援、ファミリー・サポート・センター、児童虐待防止、要保護児童対策、育児困難家庭への支援、療育センター（ポップ教室）】子育てに様々な不安を抱える家庭やひとり親家庭などを含めすべての子どもと保護者に、相談、仲間づくり、リフレッシュ、子育て関連情報の提供などの支援を行った。また、育児サークルの支援やファミリー・サポート・センターの運営など、市民による自主的な子育て支援活動や相互援助活動の促進に取り組んだ。引き続きさまざまな子育て支援に取り組み、地域における子育て支援の充実を図っていく。

【育児支援家庭訪問事業、家庭児童相談、子育てガイドブックの発行、ひとり親家庭の自立支援】産後間もない時期や養育が困難な家庭に対し育児や家事の援助、相談、情報提供等を行い、養育上の諸問題の解決・軽減を図った。また、ひとり親家庭における暮らしの安全と自立を図るため、子育て・生活・就業などの支援に取り組んだ。今後も関係機関と連携して、引き続き現行支援を継続し、生活の安定と経済的自立を支援する。

<その他の事業>

結婚支援事業、農家花嫁花婿対策事業、出産後の相談事業、不妊治療費助成事業、図書館利用促進事業、私立幼稚園保育料等補助事業、保育園・幼稚園給食費無料化事業、第3子以降の保育料無料化事業、私立高等学校等授業料補助事業、男性の家事・育児などの家庭生活への参加奨励、男性の育児休暇取得の奨励、育休・産休制度の利用促進、小学校パソコン教室、図書館司書配置、日本語教室（日本語教育適応学級担当教員の配置）、小中学校への通訳配置、外国人子どもプレスクール、特別支援学級、小学校運動場芝生化事業、食育推進事業、図書館利用促進事業、子育ての多世代交流事業、寺子屋にしお推進事業、家庭教育事業、健康教育事業

政策目標指標

指標	基準値 (H27 年度)	実績値 (H28. 3. 31 時点)	目標値 (H31 年度)
年間出生数 (厚生労働省人口動態調査 H26 年)	1,412 人 (H26 年)	1,346 人 (H27 年)	1,316 人 (H31 年)
合計特殊出生率 (厚生労働省人口動態調査 H22 年)	1.58 (H20~24 年平均値)	1.56 (H26 年)	1.64 (H31 年)

K P I (重要業績評価指標)

指標	基準値 (H27 年度)	実績値 (H28. 3. 31 時点)	目標値 (H31 年度)
婚姻数	780 件 (H26 年)	766 件 (H27 年)	820 件 (H31 年)
第 2 子以降の割合 (児童扶養手当支給対象児童)	51% (H26 年度)	51%	58%
ファミリー・サポート・センター会員数	888 人 (H26 年度)	929 人	1,000 人
地域子育て支援拠点の利用者数	106,539 人 (H26 年度)	95,353 人	107,000 人

【基本目標 4】 豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしができる「まち」を形成する

住み続けたい、住みたくなるまちづくりに向けて、誰もが自由に移動しやすい交通が確保されたまち、全ての人が安全・安心して健康に暮らせるまち、豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしを実現できるまちを目指し、人口の市外への転出抑制と移住・定住を促進する取り組みを進めます。

<主な事業の平成 27 年度取組状況と今後の展望>

【地域公共交通運行事業、名鉄西尾・蒲郡線対策事業、バス対策事業、ふれんどバス運行事業】名鉄への支援金や路線バスなどへの欠損補助、六万石くるりんバスの運行など公共交通の維持に努めた。今後は西尾市地域公共交通計画に基づき、公共交通機関の利便性向上と利用促進を図り路線の維持に努めていく。

【佐久島渡船運航事業】佐久島渡船運行事業は、佐久島活性化事業の効果による利用者の増加、運賃収入の増加に加え、燃料価格が廉価に推移したこともあり事業収益は3000万円を超えた。今後は輸送力の確保、安全運航の徹底、多言語対応など、増加している利用者への対策を行っていく。

【平坂東部土地区画整理事業、羽塚西土地区画整理事業、(仮称)寺保北土地区画整理事業、(仮称)国森土地区画整理事業、(仮称)西山土地区画整理事業】都市区画整理事業について平坂東部と羽塚西土地区画整理組合の運営支援をした。また、地権者による発起人会に対する事業認可の支援として国森地区、西山地区の現況測量等調査事業を行った。今後は、平坂東部及び羽塚西地区について平成30年度の換地処分を目指すとともに、新規地区の寺保北、国森、西山地区については、平成29年度の組合設立を目指していく。

【親子で楽しめる公園事業】親子で楽しめる公園事業については公園に架かる橋等の整備を行った。引き続きバーベキューサイト等の公園整備や橋の整備を行い、平成29年3月末の開園を目指す。

【住宅・建築物安全ストック形成事業】市民に対して耐震化の必要性を認識していただくための耐震診断の徹底や適切な工法、費用、効果等を判断するための情報提供、相談体制を充実させるとともに、耐震化に要する費用負担を軽減するための補助を実施した。今後も引き続き住宅、建築物の耐震化を推進するとともに、耐震性の無い住宅に係る取壊し費の補助制度拡充を図る。

<その他の事業>

鉄道駅を中心としたにぎわいづくり事業、防災行政無線一元化事業（同報系）、立地適正化計画策定事業、消防団・自主防災会等の組織支援、多文化共生のまちづくり、

市民と協働するまちづくり推進事業、公共施設再配置推進事業、公営住宅等ストック総合改善事業、シティ・プロモーション事業、Uターン希望者と市内企業とのマッチング支援、移住希望者への支援、(仮称)三世代ファミリー定住促進補助金、佐久島への定住促進

政策目標指標

指標	基準値 (H27年度)	実績値 (H28.3.31時点)	目標値 (H31年度)
H27～31年の社会増合計 (市町村別推計人口)	345人 (H23～26年平均)	729人 (H27年)	302人 (H27～31年平均)
住みやすさの評価・居住意向 (市政世論調査で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答された割合)	73.5% (H26年度)	-	76% (H30年度)

KPI (重要業績評価指標)

指標	基準値 (H27年度)	実績値 (H28.3.31時点)	目標値 (H31年度)
名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数	3,173,073人 (H26年度)	3,333,333人	3,219,000人
六万石くるりんバス年間利用者数	112,504人 (H26年度)	114,095人	113,000人
いこまいか一年間利用者数	1,183人 (H26年度)	1,095人	1,200人
ふれんどバス年間利用者数	268,623人 (H25.10～H26.9)	270,867人 (H26.10～H27.9)	269,000人
路線バス年間利用者数	269,932人 (H25.10～H26.9)	283,705人 (H26.10～H27.9)	270,000人
佐久島渡船年間利用者数(島民を含む)	95,300人 (H26年度)	119,846人	101,000人
一人当たり公園整備率	4.6㎡/人 (H24年度)	4.6㎡/人	5.25㎡/人
市のホームページ(シティプロモーション)アクセス数(延べ)	0件 (H26年度)	0件	20,000件

Ⅲ 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業実績

事業名	事業概要	事業経費(円)	事業経費内訳(円)	指標
西尾市人口ビジョン及び総合戦略策定事業	自動車関連企業の産業集積、豊富な観光資源及び農・水産物を有する本地域の特性を踏まえ、良質な雇用の創出と人口還流の加速による地域の活性化という好循環を生み出す「西尾市人口ビジョン及び総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	9,393,476	西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会委員等報酬 617,500 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会委員等お茶代 6,376 西尾市人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務委託料 8,769,600	-
企業戦略総合支援事業	企業の工場立地動向等の調査を行い、情報収集するとともに、市内企業の情報や本市が市内企業と共同出展する大規模展示会の招待券等の情報発信をすることにより、本市への企業の関心を誘いビジネスマッチングを側面から支援する。また、積極的に販路開拓を目指す企業に対しても、展示会等の出展に係る経費の一部を補助する。	7,262,232	企業情報収集・発信強化事業委託料 3,911,513 市内企業PR冊子印刷製本費 350,719 企業見本市等出展支援事業補助金 3,000,000	①企業見本市等出展支援事業補助金 ②企業訪問又はメール等で情報交換可能な企業
観光情報誌・ホームページ多言語表示による観光PR事業	中部国際空港内に観光情報誌多言語版を設置し同空港を利用して来訪する外国人に対し西尾市を広くPRするために観光情報誌多言語版を作成する。海外販路開拓を実施する上でも観光情報誌多言語版に加え、ホームページの多言語表示が必要となるため、観光協会ホームページの多言語表示を作成する。	12,625,200	観光情報誌多言語版作成業務委託料 11,275,000 多言語版ホームページ作成業務委託 1,350,000	①外国人宿泊者数 ②海外からの観光協会ホームページアクセス増数
ARアプリによる西尾城復元事業	西尾市は六万石城下町であり、西尾市歴史公園内には本丸跡地に石垣のみが復元された状況にある。公園内には多くの文化資源があり、多くの方が訪れる観光ポイントである。復元した石垣を基にその場所にARアプリを活用して西尾城を復元させ、非日常を体感させる観光資源を開発することで更なる誘客と観光振興を図る。	7,992,000	西尾城復元ARアプリ作成業務委託料 7,992,000	アプリダウンロード件数
訪日外国人観光PR対策事業	観光情報誌多言語版、観光協会ホームページの多言語表示、海外販路開拓等により西尾市をPRすることに合わせて、市内の観光資源を知ってもらうための多言語対応QRトランスレーターによるQRコードを作成し観光施設案内看板、イベント・祭りポスターに貼付するなどにより、外国人に対応した観光振興を図る。	1,620,000	多言語対応QRコード作成業務委託料 1,620,000	QRコードカウント数
観光協会への指導者雇用事業	西尾市の観光プロモーションの強化、官ではできない観光事業、観光協会の組織強化を図るための法人化、収益事業のための旅行業取得を目指し、旅行関係企業から指導者の派遣を行い、観光振興を図る。	4,200,000	指導者派遣業務委託料 4,200,000	西尾市観光客入込客増加見込み数
海外販路開拓事業	ミラノ国際博覧会における大茶会開催や台湾プロモーションにおいて、西尾市の地域ブランドである「西尾の抹茶」を軸にPRし、新たな海外販路を開拓するとともに、訪日外国人観光客誘客のための多言語版観光DVDを作成する。	9,078,092	海外PR映像制作業務委託 5,475,600 講師謝礼 100,000 ミラノ万博旅費(市長・随行・講師) 1,483,610 消耗品費(抹茶・干菓子・茶筌他) 533,882 台湾プロモーション業務委託料 1,485,000	海外からの観光協会ホームページアクセス増数

指標値	実績値	実施内容	事業評価	今後の方針
-	-	西尾市まち・ひと・しごと創生推進本部会議や外部有識者を含めた推進懇談会、施策検討ワーキング会議等での検討を経て、西尾市の目指すべき将来人口の展望を示した西尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンとその将来人口を達成するための施策をとりまとめた総合戦略を策定した。	本市の将来の人口減少問題を現実的に我が身の問題として捉え、自らの地域将来に向けて、今西尾市がやるべきことについて、ひとつの認識を得る機会となった。これまでは、必要性は認識しつつも具体的には踏み込んでこなかった施策の重要性が明らかになり、今後の取り組むべき方向性を示すことができた。今後は、市ができることを着実に実施していくことが重要であると考えている。	KPI等の達成にむけてPDCAサイクルにより毎年事業の進捗管理を行っていく。
6社	6社	地域産業の競争力強化による「しごと」と「ひと」の好循環作りを目指すため、積極的に誘致を図るべき産業分野を調査対象として絞り込み、1,200社へのアンケート調査及び市内のものづくり企業の情報を発信するため作成したパンフレットを配布することで、当市への立地意向や販路拡大の関心度等の情報収集を実施した。 また、積極的に販路開拓を目指す市内製造業に対しても、展示会等の出展に係る経費の一部を補助した。	将来的な人口減少が懸念される中、それを少しでも食い止めるためには、地域経済の厚みづくり、産業を支える企業の経営力の向上が不可欠である。また、中長期で地域経済に好影響を与え、地域に根を張る企業をサポートし、若い世代にとって魅力のある雇用の場を創出することが必要であり、本事業は、そのきっかけの一つとなった。今後も企業誘致や地域産業の競争力強化と稼ぐ力の向上を市として継続的に支援することが重要である。	・企業見本市等出展支援事業補助金は、企業からのニーズが高く継続方針。 ・企業情報収集・発信強化事業は、1,200社の企業情報を入手しており、今後は企業訪問等で活用していく。
30社	21社			
500人	17,359人	より多くの外国人に西尾市の魅力を知ってもらい、呼び込むために「和」を強調した観光情報誌（日本語、英語、中国語、イタリア語）を作成し、ミラノ万博や台湾の観光物産博で配布を行った。作成部数：日本語1,000部、英語10,000部、中国語（簡体語）5,000部、中国語（繁体語）15,000部、イタリア語5,000部作成。また併せて、より多くの情報を海外へ発信するため、多言語版ホームページを作成した。（中国語（簡体語、繁体語）、韓国語、イタリア語）	ミラノ万博を契機として、台湾プロモーションを実施してきており、多くの訪日外国人が西尾市にお越しいただいている。また、観光情報誌やホームページを多言語化したことで、訪日外国人へのPRを強化した。ホームページアクセス数、外国人宿泊者数も順調に推移しており、プロモーションの効果が出ていると考えられる。	市、県で実施する海外プロモーション活動と併せて効果があり、今後も継続していきたい。
3,000人	38,814人			
4,000件	0件	西尾市歴史公園に復元された石垣に向かってスマホをかざすと、復元された西尾城天守閣が現れるARアプリを作成した。告知のためポスターやチラシを作成し、PRを行った。告知ポスターB2サイズ100部、チラシ1,000部作成。	西尾城をアプリで復元し、観光客が記念撮影や城内の様子を体感できる試みで観光客からも好評である。西尾城の魅力をARといった新しい技術により発信でき、今後の誘客のための1つのモデルとなった。	アプリのリリースがH28.4.2となり、5月末時点でのダウンロード数が824件。今後もイベントでのPRや新しいコンテンツの追加などで利用者増加を図っていきたい。
1,000件	1,134件	市内の観光地やイベントに係る35のQRコードを発行した。また、日本人以外にも訪日外国人に対応できるよう英語、中国語（簡体語、繁体語）イタリア語の5言語対応とした。	QRコードで簡単に検索でき、観光地やイベントのガイドが聞けるため、初めて西尾市を訪れる外国人にとっては、大変便利なアイテムであると考えられる。	QRトランスレーターコードを増やし観光施設案内看板、イベント・祭りポスターへの貼付を実施し、今後も外国人観光客の満足度向上を図っていきたい。
48,000人	89,380人	西尾市観光協会法人化に伴い、JTB中部から専門家の派遣を1名依頼した。過去に他の観光協会への出向経験もある人材であり、観光協会法人化、旅行業取得に必要な人材として受け入れを行った。	観光協会の法人化や旅行業の取得など法人化後の運営をスムーズに行うための体制を構築することができた。	西尾市観光協会をH28.4に一般社団法人化、併せて収益事業のための旅行業を取得。観光プロモーション等を今後も引き続き継続していきたい。
3,000件	38,814件	6月26日から28日に台湾で開催された観光物産博に出展した「西尾の抹茶」のPRを行った。また、8月24日ミラノ国際博覧会において市長自ら「西尾の抹茶」を発信するため、抹茶スイーツ選手権でアドバイザーを務めている山田実加准教授とともに、大茶会を実施した。海外に西尾市をわかりやすくPRするための映像DVD（8分25秒）も作成した。DVD100部（日本語、英語、中国語（繁体語））	ミラノ万博での茶会や親日家の多い台湾で開催される観光物産博に出展したことで、世界に向けて西尾市のPRを行うことができた。市を代表する特産品である抹茶は外国人からも好評であり、今後の海外販路拡大への可能性を感じた。	作成した多言語版観光DVD等を活用して、今後も海外へ「西尾の抹茶」を引き続きPRしていきたい。

IV 総合戦略の改訂

1 KPI（重要業績評価指標）の目標値の見直しを行うもの

基本 目標	K P I	H31 目標値	
		修正前	修正後
2	佐久島来訪者数（島民利用を除く市営渡船利用者数） 【基準値（H26） 79,200 人】 [実績値（H27） 103,145 人]	85,000 人	107,000 人
4	★名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数 【基準値（H26） 3,173,073 人】 [実績値（H27） 3,333,333 人]	3,219,000 人	3,601,000 人
4	★六万石くるりんバス年間利用者数 【基準値（H26） 112,504 人】 [実績値（H27） 114,095 人]	113,000 人	180,000 人
4	★いこまいか一年間利用者数 【基準値（H26） 1,183 人】 [実績値（H27） 1,095 人]	1,200 人	1,528 人
4	★ふれんどバス年間利用者数 【基準値（H26） 268,623 人】 [実績値（H27） 270,867 人]	269,000 人	270,000 人
4	★路線バス年間利用者数 【基準値（H26） 269,932 人】 [実績値（H27） 443,193（283,705）人]	270,000 人	443,000 人（※）
4	佐久島渡船年間利用者数（島民を含む） 【基準値（H26） 95,300 人】 [実績値（H27） 119,846 人]	101,000 人	124,000 人

★地域公共交通計画の改訂に伴い、目標値の修正を行った。

※これまでは、補助対象路線（平坂中畑線、寺津線、一色線、岡崎西尾線〈三和経由〉）のみを集計していたが、地域公共交通計画の改正に伴い、補助対象路線ではない岡崎西尾線〈室場経由〉を含んで集計。

2 文章（語句）の見直しを行うもの（区分：旧は原案、新は修正案、追は追加事業）

基本目標	施策番号	区分	修正内容	総合戦略 該当ページ
1	2 地域ブランドの魅力向上	旧	<p>【主な事業】商工観光課</p> <p>●海外販路開拓事業</p> <p><u>平成27年8月に開催されたミラノ国際博覧会での大茶会の開催や台湾プロモーションで西尾市の地域ブランドである「西尾の抹茶」をPRするとともに、外国人観光客用の多言語版観光DVD、観光情報誌を作成する。</u></p>	9
		新	<p>【主な事業】商工観光課</p> <p>●海外販路開拓事業</p> <p>西尾市の地域ブランドである「西尾の抹茶」を台湾をはじめとした海外にPRするとともに、<u>訪日外国人観光客の誘客施策を実施する。</u></p> <p>[事業の進捗に伴う内容の更新]</p>	
	4 取引先・連携先の開拓支援	旧	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>●企業戦略総合支援事業</p> <p>・企業見本市等出展支援事業補助金 (省略)</p> <p>・企業情報収集・発信強化事業 (省略)</p> <p><u>(既)頑張るものづくり企業 in 西尾パンフレット作成(企業誘致課)</u> (省略)</p>	11
		新	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>●企業戦略総合支援事業</p> <p>・企業見本市等出展支援事業補助金 (省略)</p> <p>・企業情報収集・発信強化事業 (省略)</p> <p>・<u>頑張るものづくり企業 in 西尾パンフレット作成</u> (省略)</p> <p>[事業実施による事業内容の見直しによる修正]</p>	
	7 若者・女性・高齢者などが活躍できる地域づくり	追	<p>【主な事業】健康課</p> <p>(新)西尾市民げんきプラザ運営事業</p> <p>高齢者やメタボリック予備群の方等、体力や健康に不安があるハイリスク者に対し、一人ひとりに合った運動プログラムを処方し、要介護状態や生活習慣病を予防する同げんきプラザの運営により、高齢者等の自立した社会参加を支援する。</p> <p>[対象事業の追加]</p>	14

基本 目標	施策番号	区 分	修正内容	総合戦略 該当ページ
2	9 交流機能の整備	旧	<p>【施策の内容】</p> <p>◆民間事業者等と連携して、市有地の西尾駅西広場にビジネスホテル、<u>コンベンションホール、商業施設等</u>、本市の玄関口にふさわしい機能集積を目指します。</p>	18
		新	<p>【施策の内容】</p> <p>◆民間事業者等と連携して、市有地の西尾駅西広場にビジネスホテル等の宿泊施設、多目的に利用できるコンベンションホールを誘致し、本市の玄関口にふさわしい機能集積を目指します。</p> <p>〔事業者の募集要綱の変更に伴う内容の修正〕</p>	
		旧	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>(新) 西尾駅西広場整備事業</p> <p>(省略)</p> <p>誘致奨励施設は、<u>ビジネスホテル、コンベンションホール、商業施設及び飲食施設等</u>とする。</p>	
		新	<p>【主な事業】企業誘致課</p> <p>(新) 西尾駅西広場整備事業</p> <p>(省略)</p> <p>誘致奨励施設は、<u>ビジネスホテル等の宿泊施設、多目的に利用できるコンベンションホール</u>とする。</p> <p>〔事業者の募集要綱の変更に伴う内容の修正〕</p>	
	11 (インバウンドの推進) 外国人観光客の誘客推進	旧	<p>【主な事業】商工観光課</p> <p>(新) <u>ローカルクールジャパン推進事業</u></p> <p><u>地域ブランドに認定されている「抹茶」「うなぎ」などを軸にした観光街道を整備するとともに外国人をターゲットにした観光商品、観光ルートの開発とモニターツアーの実施、観光情報拠点の整備、観光PR映画の作成を行い、外国人観光客による市内観光を増加させる。</u></p>	20
		新	<p>【主な事業】商工観光課</p> <p>(新) <u>竜の子街道プロジェクト</u></p> <p><u>碧南市、半田市、常滑市の3市と連携し、日本の文化を一度に体験できる地域として、共通のコンセプトのもと、4市共通の「醸造」を軸として、常滑焼などの「器」、抹茶やうなぎなど「和食」を融合した魅力ある地域資源を創り出し、交流人口、観光客誘致の増加と地域活性化を図る。</u></p> <p>〔事業計画の変更に伴う内容の更新〕</p>	

基本目標	施策番号	区分	修正内容	総合戦略 該当ページ
3	15 母子支援 生まれ育てる 健康やかに	追	<p>【主な事業】健康課 (既) 休日診療所 日曜日、祝日、年末年始において、内科と小児科、歯科で、手術や往診を除く応急処置と、原則1日分の投薬を行う。 〔対象事業の追加〕</p>	25
4	22 安全・安心で楽しめる居住環境の整備	旧	<p>【主な事業】危機管理課 (新) 防災行政無線一元化事業(同報系) 旧3町の同報系防災行政無線をデジタル方式に変更することにより、本市の防災行政無線をデジタル方式に一元化する。</p>	34
		新	<p>【主な事業】危機管理課 (新) 防災行政無線更新事業(同報系) 旧3町に整備されているアナログ方式の同報系防災行政無線を更新する。 〔整備方式の弾力化に伴う名称および内容の修正〕</p>	
		追	<p>【主な事業】都市計画課 (新) (仮称) 西尾上矢田西山土地地区画整理事業 (新) (仮称) 西尾寺津飛越狐塚土地地区画整理事業 〔対象事業の追加〕</p>	35
		追	<p>【主な事業】建築課 (既) 住宅浸水対策改修費等補助事業 〔対象事業の追加〕</p>	35
		旧	<p>【主な事業】建築課 (新) (仮称) 三世代ファミリー一定住促進補助金 市外在住の子育て世帯と市内在住の親世帯が同居等するための住宅取得やリフォームに対し、その費用の一部を補助する。</p>	36
新	<p>【主な事業】建築課 (新) 三世代同居対応住宅支援事業 子育てや介護を家族で支え合える三世代同居に対応した住宅の整備を促進するため、整備費の一部を補助する。 〔要綱制定に伴う名称及び内容の修正〕</p>			